

介護保険施設等入所(入居)申込者状況調査結果について

(1) 調査の概要

ア 調査の目的

函館市の介護保険施設等における入所(入居)申込状況を把握し、第7期介護保険事業計画において適切な介護保険施設等の整備数量を見込むことを目的として、「介護保険施設等入所(入居)申込者状況調査」を実施しました。

イ 調査の方法

市内の各介護保険施設等に対して調査票を送付し、平成29年6月1日現在の入所(入居)申込状況について回答を得ました。

集計にあたっては、調査票に記載の情報について、平成29年5月末日の住民基本台帳および介護保険システムと突合し、年齢、性別、要介護度、居所等について、より正確な情報となるように努めました。

○ (参考) 調査対象施設

施設種別	施設数	
介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	20	(地域密着型4施設を含む)
介護老人保健施設	9	
介護療養型医療施設	5	
特定施設(介護付有料老人ホーム等) *	25	(地域密着型13施設を含む)
認知症高齢者グループホーム	46	
ケアハウス	4	
計	109	

* 「特定施設(介護付有料老人ホーム等)」: 特定施設入居者生活介護事業所の指定を受けている、有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅・ケアハウス(入所措置が必要な養護老人ホームは調査対象から除外)

(2) 調査の結果

ア 調査結果の概要

総申込者 2,186 人について、申込状況を集計した結果、重複等を除いた有効申込者数は 1,121 人となりました（表 1）。

施設ごとの有効申込者数をみると、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）が 898 人と最も多く、全体の 8 割を占めています。その他の施設については合計で 223 人の申込者がいる一方で、介護療養型医療施設、認知症高齢者グループホーム、特定施設、ケアハウスではいくつかの施設で申込者無しとの回答がありました。

表 1 調査結果の概要

入所申込先	総申込者	内訳							
		①重複	②死亡	③市外	④住所地特例	⑤不明	⑥施設間重複	⑦入所済	⑧有効申込者
介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	1,790	391	208	168	1	16		108	898
介護老人保健施設	54	1	0	8	0	0	10	2	33
介護療養型医療施設	18	0	2	3	0	0	2	1	10
認知症高齢者 グループホーム	122	7	22	3	1	8	12	12	57
特定施設 (介護付有料老人ホーム等)	139	12	3	6	1	17	20	4	76
ケアハウス	63	1	0	11	0	1	2	1	47
合計	2,186	412	235	199	3	42	46	128	1,121

○（参考）集計手順

手 順	内 容
①重複	総申込者（2,186 人）から同一種別の施設に 2 か所以上の申し込みをしている者（412 人）を「重複」として除く。
②死亡	「死亡」が確認された者（235 人）を除く。
③市外	「市外」に住所がある者（199 人）を除く。（ただし、当市の被保険者であって市外にいる者はこれに含まない。）
④住所地特例	市内に住所があつて、当市の被保険者でない者（3 人）を「住所地特例」として除く。
⑤不明	住民基本台帳および介護保険システムにおいて突合できなかった者（42 人）を「不明」として除く。
⑥施設間重複	異なる種別の施設に 2 か所以上申し込みをしている者の入所申込先を、特別養護老人ホームに申し込みをしている者は特別養護老人ホームに、それ以外の者は入所申込時期の一番新しい施設に、それぞれ確定したうえで、重複分（46 人）を「施設間重複」として除く。
⑦入所済	申込先と同一種別施設に入所済の者（128 人）を除く。
⑧有効申込者	総申込者から①～⑦の順に除いた者を「有効申込者」とする。（1,121 人）

イ 緊急度別入所（入居）申込者数

有効申込者について、申込施設ごとに居場所別・要介護度別に分け、以下の「入所（入居）申込者の緊急度の考え方」に基づき、緊急度別入所（入居）申込者数を整理しました（表2）。

この結果、緊急度が高い方は236人、緊急度が中程度で「在宅・入院」の方は211人、「居住系施設」に入居の方は94人、緊急度が低い方は580人となりました。

表2 緊急度別入所（入居）申込者数

現在の居場所		軽度				中度		重度		合計	緊急度	申込者数
		認定無し	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5			
在宅・入院	在宅	25	28	14	47	68	111	84	53	430	高	236
	病院	1	0	2	15	9	23	42	57	149		
居住系施設	養護老人ホーム	2	0	1	2	0	1	3	2	11	中	在宅・入院 居住系施設
	ケアハウス	0	0	0	1	1	3	0	0	5		
	生活支援ハウス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	低	580
	認知症高齢者グループホーム	0	0	0	5	11	16	15	13	60		
	特定施設（介護付有料等）	0	1	1	8	9	13	5	5	42	合計	1,121
	有料老人ホーム	0	2	1	0	12	4	9	1	29		
	サービス付き高齢者向け住宅	0	0	0	13	8	6	10	4	41		
	その他施設	2	0	1	9	10	26	17	10	75		
	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	0	0	0	0	0	2	2	2	6		
介護保険3施設	介護老人保健施設	0	0	0	20	35	71	69	47	242		
	介護療養型医療施設	0	0	0	0	1	0	16	14	31		
合計		30	31	20	120	164	276	272	208	1,121		

○ 入所（入居）申込者の緊急度の考え方

- ・緊急度「高」～在宅で生活する方や入院している方のうち、在宅生活が困難と考えられる要介護度の高い方
- ・緊急度「中」～在宅で生活する方や入院している方のうち、要介護度が中程度で在宅生活が困難と考えられる方や、居住系施設に入居している方で、要介護度が悪化し、より高度な介護サービスを必要とする状態となった方
- ・緊急度「低」～既に介護保険3施設に入所している方や居宅サービスを利用しながら在宅生活を継続することが可能と考えられる要介護度の低い方

居場所 \ 介護度	軽度 (～介護1)	中度 (介護2・3)	重度 (介護4・5)
在宅・入院		中	高
居住系施設		低	中
介護保険3施設		低	

(3) 緊急度別入所（入居）申込者数の推計

ア 平成 29 年度

次に、平成 29 年度末までに新たに整備される右記の施設に、居場所が「在宅・入院」の方が入所（入居）するとして平成 29 年度の緊急度別入所（入居）申込者数を推計しました（表 3）。

この結果、平成 29 年度における緊急度が高い方は 36 人、緊急度が中程度で「在宅・入院」の方は 193 人、「居住系施設」に入居の方は 94 人、緊急度が低い方は 575 人となります。

施設種別	定員数
介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) (地域密着型を含む)	129
認知症高齢者グループホーム	36
特定施設(サービス付き高齢者向け住宅) (地域密着型を含む)	58
計	223

表3 緊急度別入所(入居)申込者数の推計(平成29年度)

現在の居場所		軽度				中度		重度		合計	緊急度	申込者数
		認定無し	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5			
在宅・入院	在宅	25	28	14	43	60	103	9	6	288	高	36
	病院	1	0	2	14	9	21	8	13	68		
居住系施設	養護老人ホーム	2	0	1	2	0	1	3	2	11	中	在宅・入院 居住系施設
	ケアハウス	0	0	0	1	1	3	0	0	5		
	生活支援ハウス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	低	575
	認知症高齢者グループホーム	0	0	0	5	11	16	15	13	60		
	特定施設(介護付有料等)	0	1	1	8	9	13	5	5	42	合計	898
	有料老人ホーム	0	2	1	0	12	4	9	1	29		
	サービス付き高齢者向け住宅	0	0	0	13	8	6	10	4	41		
	その他施設	2	0	1	9	10	26	17	10	75		
介護保険 3施設	介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	0	0	0	0	0	2	2	2	6		
	介護老人保健施設	0	0	0	20	35	71	69	47	242		
	介護療養型医療施設	0	0	0	0	1	0	16	14	31		
合計		30	31	20	115	156	266	163	117	898		

- *1 特別養護老人ホーム 129 床および特定施設 58 床分は、当該施設申込者のうち居場所が「在宅・入院」で、かつ要介護 4 または 5 である方の「在宅」と「病院」の人数割合および要介護度別の人数割合に応じて按分し、表 2 の『緊急度別入所（入居）申込者数』から差引いて見込みました。
- *2 認知症高齢者グループホーム 36 床分は、当該施設の要介護度別利用実績割合ならびに当該施設申込者および特別養護老人ホーム申込者のうち居場所が「在宅・入院」である方の「在宅」と「病院」の人数割合に応じて按分し、表 2 の『緊急度別入所（入居）申込者数』から差引いて見込みました。